

基礎看護学実習Ⅱ（2単位）

1. 実習目標

- 1) 患者の健康障害及び治療生活状況を理解し、患者の状態に応じた生活援助が実施できる。
- 2) 看護チームの一員として自己の役割を学び、看護学生として責任をもって行動できる。

2. 行動目標

- 1) 患者の健康状態に応じた観察の視点、系統的観察の方法の重要性に気づく。
- 2) 患者の情報を得て援助の必要性を考える。
- 3) 患者に応じた日常生活援助計画を立案する。
- 4) 日常生活援助計画に基づき援助を実施する。
- 5) 患者に行った援助、援助に対する患者の反応、自己の行動について評価する。
- 6) 報告、連絡、相談を適切に行う。
- 7) カンファレンスには積極的に参加し、メンバーと意見交換ができ、他者の意見は傾聴できる。
- 8) 自らの体調を管理し、実習マナーを遵守する。

3. 実習方法

- 1) 実習1日目に学内にて実習の目的、方法の説明を受け、ビジョン・ゴールを明確にする。
実習計画を立案し、自己課題に沿って事前学習を確認し追加、補足する。必要であれば技術練習も実施する。
- 2) 実習2日目に病棟の概要説明を受ける。（内容は基礎Ⅰ期参照）
- 3) 受け持ち患者1名を持つ。
対象の目安・言語的コミュニケーションが可能であること
・日常生活援助を受けている事
病室の環境（病室の環境整備・病床整備）、清潔・衣生活、食生活、排泄、活動・休息
- 4) 指導者（担当看護師）の受け持ち患者への看護活動を見学、体験し、その活動内容、目的、方法について説明を受ける。
- 5) 患者の日常生活に関する情報を意図的に収集し、情報から援助の必要性を判断して援助計画を立案する。
- 6) 行動計画、援助計画に基づいて行動し、指導者（担当看護師）に実施した内容やその判断等について連絡、報告、相談する。
- 7) 実習終了後は行動記録を記載する。
- 8) 帰校後、学内にてカンファレンスを行い学びの整理をする。
- 9) 最終日、学びのまとめを行う。午後は病棟指導者と「患者の状態を考慮した日常生活援助を通して学んだこと」というテーマでカンファレンスを行う。
- 10) 実習終了後、実習の学びのレポートを記載する。